

東日本大震災を乗り越えて、前に進むとする三陸の人たちからのメッセージを届けます。

復活したホテルの支配人

人首ますよさん

ひとかへ

津波で全壊した「キャピタルホテル1000」が営業を再開。その支配人として、人首ますよさんもまた、新たなスタートを切った。人首さんはホテルのすぐそばで、女将として飲食店を切り盛りしていた。父親が漁師ということから新鮮な魚を仕入れ、明るい笑顔でお客を迎える日々だった。しかし、津波で店も家も失った。

震災があった年の12月、ホテルの会長が会いに来た。「会長とは、自分の店のオープン以来のお付き合い。『きょうは、くどきに来た。ホテルを再開したいから、いっしょにやって欲しい』と言われて。もとの飲食店を再開するのか、違う道を探すのか。ふたつの道があ

りました。が、こんなに失ったから、もつと違った生き方をしてみよう」と決心しました」と、そのときの気持ちを振り返る。生まれ育った大好きな街のために、何かしたい。その想いが、経験のない仕事に踏み出す勇気をくれた。

ホテルが完成する前から、還暦や古希の祝いの会の申し込みがあった。皆で集まる場が欲しかった地域の人たちから「再開を待ってたよ」「ありがとう」と、笑顔で言われるのが嬉しい。

人首さん自身は、今も仮設住宅住まいだ。「街ができるのは、まだまだ先のこと。でも、これから街とともに、ホテルも成長していけたら」と、口元を引き締めた。

大好きな街とともに
ホテルも育っていききたい



「陸前高田の迎賓館」と呼ばれていたキャピタルホテル1000。11月1日、市内の高田で、復興のシンボルとして再開した。眼下には、まだ何もないうちが広がる。人首さんは「非常事態のままだということを忘れてはいけない」と話している。

キャピタルホテル1000
岩手県陸前高田市高田町長砂60-1
<http://www.capitalhotel1000.jp/>

